



2021年(令和3年)7月15日

第73号

発行



一般社団法人
尼崎市手をつなぐ育成会
尼崎市東七松町1丁目2-21
TEL (06) 6480-5845
FAX (06) 6480-5846
E-mail: ikuseiama123@gmail.com
http://www.ikuseikai-ama.com/

就任のご挨拶



この度、5月の決算総会を機に、井上三枝子会長よりバトンを受け継ぎ、会長に就任いたしました。身に余る大役に気が引き締まる思いです。微力ながら精一杯務めて参りますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

尼崎市手をつなぐ育成会は、知的な障害のある我が子の幸せを願い、教育・福祉・就労などの施策の整備や充実を求め、発足しました。その中で諸先輩方は行政と協力しながら、様々な課題に多額の私財を投じて取り組んで来られました。後進の私たちは、現在の社会福祉制度を享受するかたわら、これらの制度が当たり前でできたものではないことを自認し、当時の関係者の皆様に敬意を表しつつ、活動を続けて参りたいと思っております。

一般社団法人 尼崎市手をつなぐ育成会
会長 鳥居 祐紀

コロナ禍の中、時代の移り変わりとともに人々の価値観は多様化し、共生社会の構築は待たなしの状況です。障害のある人もない人も、お互いを尊重しあい、誰もが自分らしく生きることのできる社会を目指すために、私たちは何をすればよいのでしょうか。新時代の幕開けにこそ、会員が一丸となって協力し合い、真摯に取り組んでいきたい・・・そのような所存です。

新体制が始動したばかりでおぼつかない点等多々ありますが、関係各位の皆さま方には今後ともご指導ご鞭撻のほど、あらためてよろしくお願い申し上げます。

15年間ありがとうございました

副会長 井上三枝子

今回の決算総会をもって会長職を退くことになりました。長いようで短い15年間でした。当初は何もわからなかったのですが、皆様からの励ましや温かく見守っていただいたおかげで無事に務めることができました。

15年の間には制度が変わり、社会も変わり、障害についての概念も大きく変わりました。この変動の時に様々なことを学ばせていただき、またたくさんの方との出会いやつながりをもつことができましたことを感謝しています。

今後は副会長として、鳥居会長への引き継ぎをしつつこの学ばせて頂いたことをなんらかの形で皆様にお伝えするのが育成会へのお返しだと思っています。

これからも引き続き会へのご協力とご支援を当お願い致します。本当にありがとうございました。



就任のご挨拶



教育長 白畑 優

今年度4月より尼崎市教育委員会教育長に就任しました白畑 優（しらはた まさる）でございます。

平素は、本市の特別支援教育に多大なるご理解とご支援を賜りありがとうございます。

本市では、障害者の権利に関する条約の趣旨等を踏まえ、「すべての支援の必要な子どもたちの自立と社会参加に向け、関係機関との連携を進め、学校園全体で一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導支援を行うとともに、誰もが多様性を理解し尊重し支えあう共生社会の担い手となる子どもたちの育成を目指す」を基本理念とする「インクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育のあり方について（基本方針）」を本年2月に策定いたしました。

基本方針では、各学校園において、個々の障害の状況や教育的ニーズに応じた合理的配慮の提供、支援体制の整備と充実を図りますほか、就学前から就学後まで切れ目なく一貫した支援を行えるよう、関係機関との連携をさらに深めるなど、6つの重点目標を定めて特別支援教育の推進に取り組んでいるところです。

特に、関係機関との連携においては、教育、保健、福祉、医療等の関係機関とのネットワークを形成し、縦と横の連携を強化するほか、あまよう特別支援学校の専門性の向上を図り、センター的機能を充実いたします。

また、教職員の専門性の向上を図るために研修体系を充実させるとともに、市民の皆さまに本市の取り組みを積極的に情報発信し、特別支援教育についての理解と啓発に努めてまいります。

支援の必要な子どもたちは、個々に応じた支援を受け、共に遊び、共に学んでいます。特別支援学校では、子どもたちが地域の学校と交流し、地域の子どもたちと楽しい時間を過ごしております。すべての子どもたちが、互いを認め合い、持てる力を十分発揮し、自己実現に向けて集団の中で安心して学ぶことができるようなインクルーシブ教育システムの構築を目指してまいります。

今後も、本市の教育行政の推進のために尽力してまいりますので、皆様におかれましては、本市の特別支援教育の充実、子どもたちの自立と社会参加のためにお力添えを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。





就任のご挨拶

尼崎市健康福祉局福祉部

部長 富田 憲幸

今年4月に福祉部長を拝命し、就任することとなりました富田でございます。

平素は本市の福祉行政にご理解とご協力を賜り、ありがとうございます。

私は平成25年度から8年間、障害福祉部門を担当し、その間、障害者計画等の改定や、障害福祉サービス等のガイドラインの策定、地域生活支援拠点の整備等に取り組んできました。

これらの施策の推進にあたっては、自立支援協議会等を通じて、鳥居会長や井上副会長をはじめ、皆様からの多くのご意見があり、そのご意見を基に協議を進めることができたことによるものと感謝しています。

また、皆様とは、貴会の総会や成人式、還暦祝・新年おめでとう会、兵庫県知的障害者福祉大会など多くの場で交流させていただきました。

その中で特に印象に残っていることは、貴会の団結力です。

どの場面においても、声を掛け合い、スムーズな進行ができるよう協力し合っている姿は、日頃からのコミュニケーションによるものであり、貴会の組織力の強さを表していると感じています。

この度、障害福祉部門から異動となりますが、今後は地域福祉活動や要配慮者支援等を担当しますので、引き続き、皆様のお力添えをいただきますよう、お願い申し上げます。



就任のご挨拶

尼崎市健康福祉局障害福祉政策担当

課長 山崎 健太

4月より障害福祉政策担当課長を拝命しました、山崎 健太（やまざき けんた）でございます。平素は本市の障害福祉行政にご理解とご協力を賜り有難うございます。

私は平成24年度から2年間、厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部企画課への派遣研修を受けて、平成26年度に本市障害福祉課に配属され、係長として7年間、主に障害者計画の策定や新規施策の企画立案に携わってきました。

今年度から課全体の舵取り役として、今まで以上に重責を担うこととなるため、大変身の引き締まる思いであり、高田障害福祉担当部長、田岡障害福祉課長、塩谷北部障害者支援課長、福田南部障害者支援課長と力を合わせながら、本市障害者施策の推進に尽力してまいります。

また、今年度から「尼崎市障害者計画（第4期）・障害福祉計画（第6期）」が開始となりますが、尼崎市手をつなぐ育成会におかれましては、当該計画の策定にあたり、各審議会・協議会への参画や会員向けのアンケートへの協力など多方面にわたりご協力いただきましたこと、この場をお借りして改めて御礼申し上げます。

当該計画の推進にあたりましては、引き続き、皆様のお力添えをいただきますよう、宜しく願い申し上げます。



木村泰子氏 オンライン講演会

10年後の子どもに必要な「見えない学力」の育て方

～「困った子」は「困っている子」～



テーマは “子どもが主人公”

2021年2月26日(金) 18:00～21:00開催

私たちの街で育つ大切な子どもたちは、将来、「多様性」「共生」「想定外」の社会に出ていきます。正解のない時代に何を大切にして子育てをすれば良いのでしょうか？全ての学力の源になる「主体性」を育むには？先生と保護者はどうしたらうまく連携できるのでしょうか？・・・という問いかけに始まり、今回、木村泰子先生と一緒に考える講演会を開きました。

「障害のある子どもない子どもともに学ぶ学校」を目指して来られた木村泰子先生のお話には尼崎市教育委員会からの後援をいただき、会員以外にも、稲村市長をはじめ、行政のお立場の方、学校の先生やPTA 役員の方々など、計220件のお申込みがありました。(後日、期間限定のYouTube配信は再生回数500回を超えました。)

すべての子どもがその子らしく主体的に学び、お互いを思いやる気持ちあふれる大人になるためには、子どもも先生も保護者も、互いに尊重し合い協力する「三方よし」でなければならないと思います。子どもたちが主人公のインクルーシブ教育を实践、模索していく中で、その方法が見つかっていくのではないかと、そう思える熱い講演会となりました。



「4つの力」

- ・人を大切にする力
- ・自分の考えを持つ力
- ・自分を表現する力
- ・チャレンジする力



「インクルーシブ教育」って？
「通級指導」や「交流学习」がインクルーシブ？
「分ける教育」や「分けない教育」？
これらはすべて「手段」

目的は…「誰一人排除しない教育」
学校に「自分らしく」学べる場所がある
「不登校」0があたりまえ

特別支援教育は「環境」をつくる
「障害」のある子どもの個別指導
ではなく
周りの子どもを育てる
子どもと子どもをつなぐ

【感想】

- 集団の型に子どもをはめるのではなく、一人ひとりの個性を受け止めて着目し、そこから学ぶ姿勢が、結局は日本の目指す学力向上への一番の近道になるんだということが分かりました。うすうす自分でもそう感じていましたが、現場で実績を積まれた木村先生の言葉とも一致していることが分かり確信することができました。ですが、今の日本の教育実態とは真逆ですね。とても素敵なお話を聞かせていただきました。ありがとうございました。
- 尼崎市は特別支援教育やインクルーシブといったところが随分遅れているように思います。そのような尼崎市で今回このような講演会を開催していただいたことは、本当に大きな一歩だと思います。本当にありがとうございました。
- インクルーシブ教育を学校の先生皆さんで考えて欲しいです。
- 現代求められている教育に対する大切な事を、明確に理解できました。色々な所で、様々な方々が言われている問題点や目標を、きちんと頭で整理する事もできました。



木村泰子氏プロフィール

大阪市出身。武庫川学院女子教育学部短期大学保健体育学科（現武庫川女子大学短期大学部健康・スポーツ学科）卒業。尼崎市内の小学校で教育実習をした経験が大空小学校での実践の礎となった。

「みんながつくる みんなの学校」を合言葉に、全ての子どもを多方面から見つめ、全教職員のチーム力で「全ての子どもの学習権を保障する学校をつくる」ことに情熱を注ぐ。

学校を外に開き、教職員と子どもとともに地域の人々の協力を経て学校運営に当たるほか、特別な支援を必要とされる子どもも同じ教室とともに学び、育ち合う教育を具現化した。2015年春、45年間の教職歴をもって退職。著書多数。



著書より

私が9年間勤めた大阪市立大空小学校の校長を退職してもう6年になります。

2006年に開校したこの公立小学校には、いじめを受けて学校に行けなくなった子、発達障害と診断された子など、支援の必要な子がたくさん転校してきました。

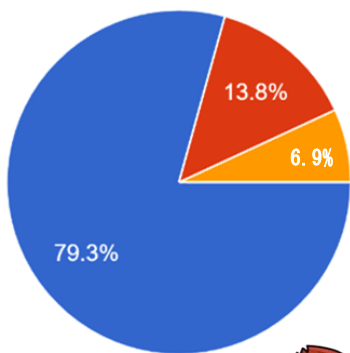
私の在任中、その数は50人を超えましたが、その間の不登校はゼロ。ついでに言うと、モンスターペアレントもゼロ。大空小学校では教室を走り回る子、椅子をガタガタさせる子も、みんな「いつもいっしょ」が当たり前です。

「そんな子どもと一緒にだと、学力が心配」「授業はちゃんとできるの?」と思ってしまうかもしれません。

でも、全国学力調査で全国一の県を上回ったこともあるんですよ。授業中も、誰一人集中力は欠かしません。「見えない学力」が高まれば、「見える学力」(=成績。いわゆる学力)は結果としてついてきます。】



視聴後のアンケートより



- とても良かった
- 良かった
- 普通
- あまり良くなかった
- 良くなかった



稲村和美尼崎市長にもご挨拶いただきました

共生社会をめざすには、
子どもたちから同じ場
所で学ぶのが一番です。
共に学び共に学ぶ社会を
実現しましょう!



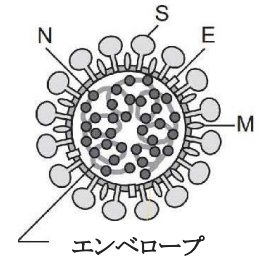
新型コロナウイルス感染症 ～予防と対応～

兵庫県立大学 地域ケア開発研究所 所長/教授 増野園恵氏

新型コロナウイルス感染症はまだ収束には至らず今年になっても緊急事態宣言が2度も発令されました。そんな中3月末に県育成会から新型コロナウイルスについての講演会がオンラインで発信されました。

今回の研修会を参考に正しく知って出しく恐れコロナ禍を乗り越えましょう！

コロナウイルスの形



正しく知って、正しく恐れる…ために！

1. 新型コロナウイルス感染症について

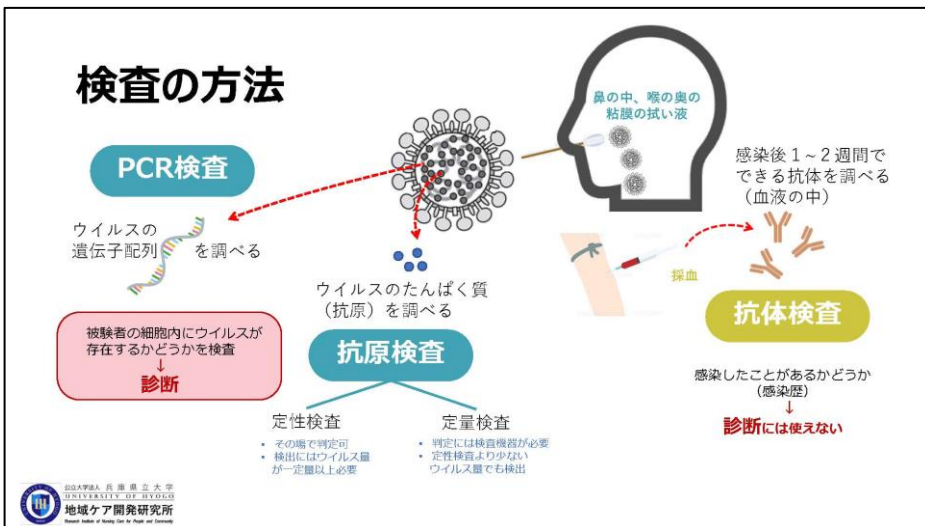
- 新型のコロナウイルス（SARS-CoV2）によって引き起こされる感染症

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の代表的な症状

最もよく見られる症状	時折みられる症状	重篤な症状
発熱(37.5度以上)	痛み（頭痛・関節痛・筋肉痛）	呼吸が苦しい
咳（乾いた咳）	喉頭痛、吐き気、下痢、結膜炎	息切れがする
倦怠感（からだのだるさ）	臭覚・味覚異常、皮膚の発疹	胸が痛い・圧迫感がある
	手足の指の変色	意識障害

感染した人がほかの人にうつす可能性

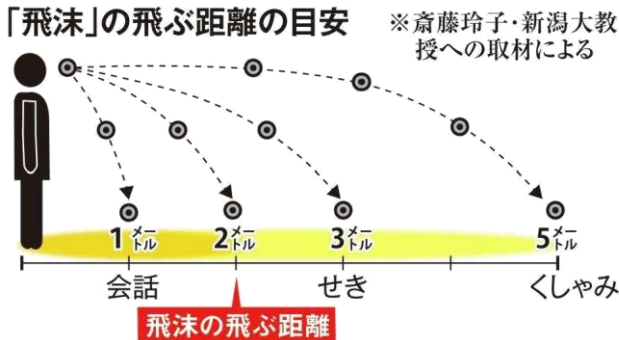
- 他人にうつしているのは感染者の2割以下
⇒身近に感染者が出たから即感染するというわけではない
- 他人にうつす可能性のある期間は、発症の2日前から発症後7～10日
⇒PCR陽性でも症状が出てから1週間以上経っていたら感染のリスクはかなり低い



2. 感染予防の基本

- 飛沫感染の予防…マスク着用・咳エチケット、フィジカルディスタンス、食事時の飛沫拡散対策
- 接触感染の予防…手洗い、手指消毒、よく触れる場所・ものの拭き掃除（消毒）
- 空気感染の予防…換気

エンベロープと呼ばれる膜が、石鹸やアルコールで破壊されるため有効！



Sankeibiz 2020.3.17 より <https://www.sankeibiz.jp/economy/photos/200317/ecc2003171325002-p1.htm>

適切なマスクを選択する

マスクの種類による飛沫量（吐き出し／吸い込み）

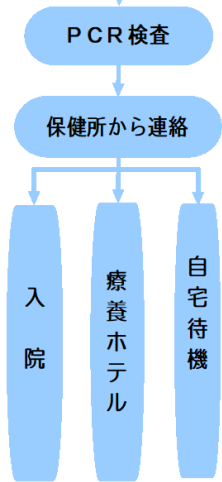
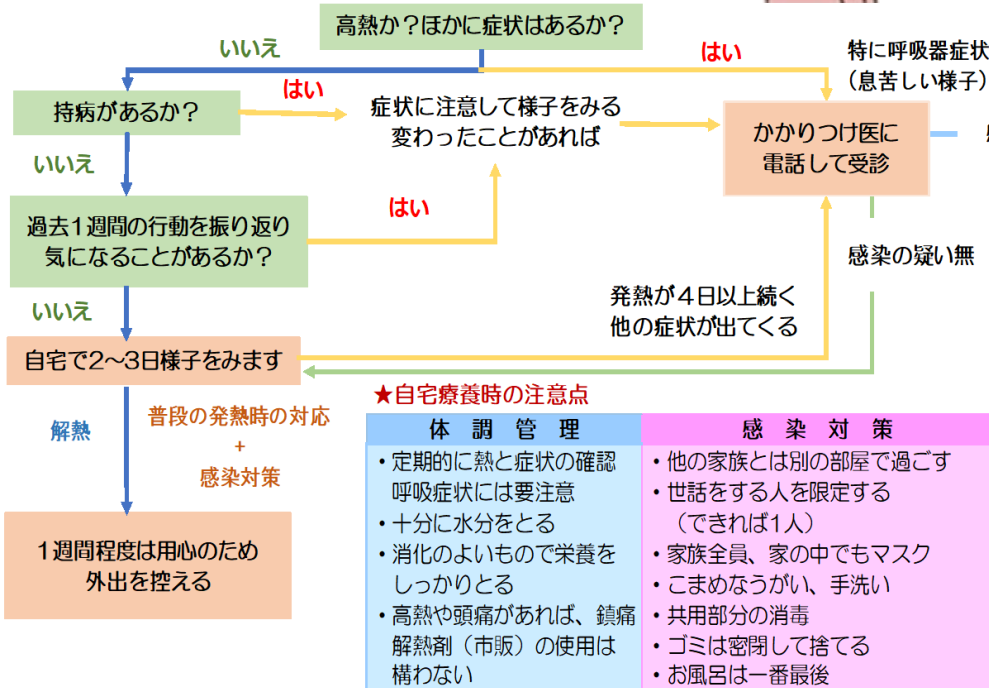
	不織布	布	ウレタン	フェイスシールド	マウスシールド
吐き出す飛沫量	20%	18-34%	50%	80%	90%
吸い込む飛沫量	30%	55-65%	60-70%	小さな飛沫に効果なし	

3. 症状がある時の対応

熱が37.8度！えっ、コロナ？
まずは、慌てずに下のフローチャートで確認しましょう



症状がある場合は
*かかりつけ医
*発熱等受診・相談センター
へ電話で相談



4. コロナと上手につきあう

あふれる情報に振り回されない	対策はメリハリをつけて	ストレス・マネジメントとリラクゼーション
<ul style="list-style-type: none"> ヘルスリテラシーを高めましょう ⇒疑情報を見抜く ワイドショーやSNS、ネットメディアはほどほどに 情報は信頼できる情報源から ⇒厚生労働省、県や市町、WHOなど 	<ul style="list-style-type: none"> ずっと緊張状態を続けることはできません セーフティゾーンをつくっておく ⇒家の中のセーフティゾーンにウイルスを持ち込まない 	<ul style="list-style-type: none"> 頑張りすぎない！ どんなに完璧に対策している、と思っても感染リスクをゼロにすることは難しい 自分なりのストレス解消法を持っておく 1日1回はリラクス（リラックス）の時間を持つ



まんまるはうす完成



まんまるはうすが11月末に完成し、お披露目を兼ねて1月18日、午前午後と分かれて来賓の方への見学会を行いました。こんな時期ですので各回少人数での開催でしたが、皆さんにゆっくり見学していただくことができました。また、市長をはじめ7名の市役所職員の方々が足を運んでくださり、「立派な施設ですね」とお褒めの言葉をいただきました。

まんまるはうすは1階が会議室兼ホールになっており、現在は理事会や音楽療法に使用されています。2階には浴室と休憩所があり、浴室にはしっかりとした介助器具がついていて入浴介助がしやすくなっています。3階は事務所と相談室。各階には十分な物置きもあり、一部には災害備蓄品なども保存されています。

まんまるはうすは会員皆さんの財産です。1階2階は会員の皆さんがご利用いただけるスペースですので、ぜひご予約の上ご利用くださいね（詳細は以前配布しましたプリントをご確認ください）。



お披露目会では来賓の方々と共に記念撮影をしました

まんまるはうす完成まで



旧七松作業所



7/1 から
解体作業



7/26 地鎮祭



基礎工事



骨組み工事



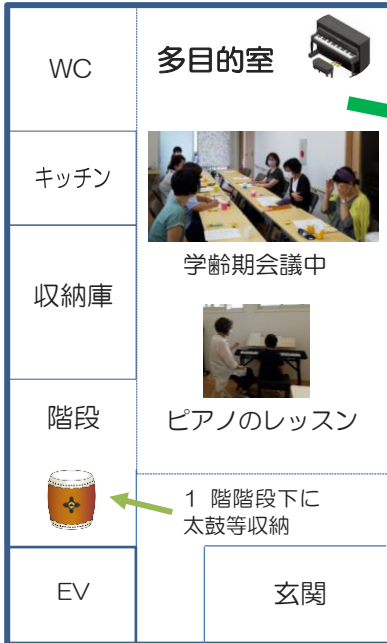
11/19 引き渡し式





まんまるはうすを のぞいてみよう

【1F】



地活センターかがやきは休止中ですが会議や音楽療法などに大活躍🎵

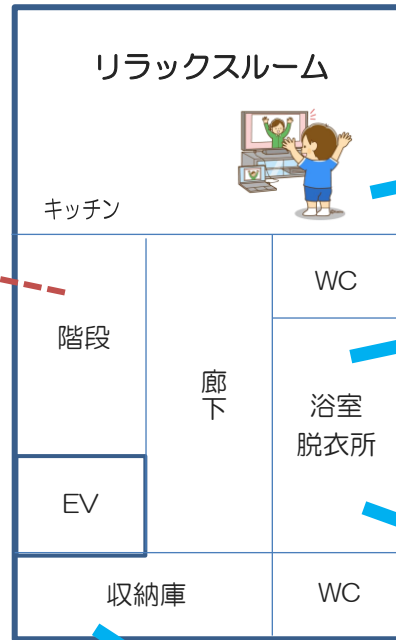


階段には両側に手すりをつけ安全に配慮しています



まんまるはうすを利用する時は事務所にお申し込みください

【2F】

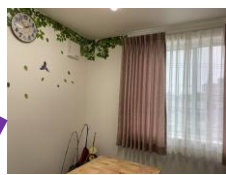


浴室からトイレまで一直線



災害に備え防災グッズを収納しています

【3F】



談話室からは市役所が臨めます!!



書類を①②の収納庫で保管

まんまるはうす建設費

- *土地(約34坪) 2,274万円
- *建物・備品 1億1,234万円
- 合計 1億3,504万円

..育成会ヒストリー作成中..

東七松の地に「まんまるはうす」が完成したことを祝して、草創期の先輩の会員がどんな思いでどのような活動をされたのか、50周年記念誌を元にインタビュー形式でお話を伺い、DVD動画に貴重な記録として残して行くことになりました。ただ今第一世代は収録済みで、第二世代収録を調整しています。閲覧ご希望の方は事務局までご連絡ください。

啓発キャラバン隊「まんまるはーと」活動報告



尼崎南警察署警察官研修

令和2年10月5日 尼崎南警察署にて

尼崎では団塊の世代の警察官の方々が毎年数百人退職されていて、急速に若い世代との入れ替わりが進んでいるとのこと。それで南警察署の警察官の皆さんの平均年齢も37歳(!)と若く、今回参加して下さった50名ほどの方々も、かなり若い方が多い印象でした。

ご参加の皆さんはマスクで表情は見えなかったのですが、真っ直ぐな目で真剣に聞いてくださっているのがわかりました。

日々の勤務の中で障害を持つ人とやり取りをすることもあるとのこと。学んだことを今後生かしていきたいと感想を述べられていた方もおられました。

警察官の方々には、街の中で共に暮らす障害のある人や子どものことをぜひご理解いただきたいと思っていましたので、今回は本当に貴重な機会となりました。

いろいろな人が自分らしく暮らしていけるように…まずは、知っていただくことからだと思っています。

期せずしてNHK神戸支局の取材が入り、同日夜、地域のニュースで取り上げられました。これをきっかけに、より多くの方に興味を持っていただけることを願っています。



飯庁舎の南警察署



ワークショップの様子



兵庫県新任職員研修

令和2年10月21日、30日、11月5日、10日 兵庫県自治研修所にて

兵庫県新任研修では、4日間で約280名の職員の方々にワークショップを受けていただきました。コロナ対策「密の回避」のため、メイン会場とサブ会場に分かれてリモートで同時配信するという方法で行われました。いつもの会場と違って、私たちにもカメラに向かって話す、見せる、などの技術が求められましたが、とてもいい勉強になりました。「聞こえ方の疑似体験」などは、サブ会場の方々にはこちらの意図を感じていただくことが難しかったのですが、それでも事情を酌んでくださり、好意的な感想をお寄せいただきました。中には臨床心理士などの専門家の方々もいらっしゃって、私たち親目線でのワークショップにたくさんの共感のお言葉をいただき、とてもうれしかったです。

県下の公務員の皆さんに少しでもお役にたてればと思います。



自治研修会館玄関



メイン会場



サブ会場



窓からは瀬戸内海を一望

ひょうごチャンネルでは「できることからはじめよう!みんなの声掛け運動~知的障害や自閉症をお持ちの方の生活を見つめて~」という番組で知的障害の人たちの生き生きした暮らしがアップされています。

この動画は、5月1日から、三ノ宮センター街大型ビジョン、イオン神戸南・北店での子画面でも、ショートバージョンが放映されています。

お出かけの際にまたお時間のある時に下記のアドレスか右のQRコードからご覧ください。

[動画：https://www.youtube.com/watch?v=VXk_TXWpp8k]



退任のご挨拶

山畑佳子

在任中は、色々お世話になりました。地活センターかがやきをトータル14年間担当し、公園清掃では雨で中止にならないか、また梅雨の暑い中での草抜きで参加者の方々の体調を心配したのも懐かしい思い出です。これからは監事として頑張りますのでよろしくお願いします。

津 玲子

本部役員の学齢期担当を6年間務めさせていただきました。初めての試みもあり至らない点がたくさんあったかと思いますが、役員や理事の皆様方には暖かく見守っていただき心から感謝しております。本当にありがとうございました。

水野光代

この2年間はコロナ禍で通常の任務ができず、本部の方々には大変ご迷惑をお掛けしました。至らない点ばかりでしたが、これからも一会員として育成会の活動に関わっていきたいと思います。本当にありがとうございました。

田中礼子

6年という短い間でしたが、素敵な出会いは私の大きな学びとなりました。ありがとうございました。

山本千里

常に一歩先をいっている尼崎育成会。その会活動の中で理事として多くの事を学び体験し、また出会いを与えて頂いたことに感謝いたします。一人ではできないことも、人が集まれば大きな力になりますね。これからもユニバーサル社会を目指して、会のみずみずの発展を願っています。

石井克子

施設理事、書記でお世話になり個人的にもたくさんアドバイスをいただきありがとうございました。コロナ禍ではリモート会議や研修も初めて経験できて良かったです。まんまるはうすが完成し今後さらに会が充実されますよう願っております。

西牟田美穂

はじめてのことで緊張や不安もありました。コロナ禍でのことで育成会からの行事等が中止になったりしてあこや学園の人達に説明や参加していただけなかったことが残念でした。育成会の理事会に参加させていただき育成会の人達は優しく接してくださり色々なお話を聞けたり私の知らない情報を知る事ができいい勉強ができました。1年間理事をさせていただきありがとうございました。

令和2年度 要望書

1. 尼崎市内に複合施設の建設
1. 知的障害児に対するインクルーシブ教育の推進
1. 知的障害児に対する教育効果が高まるような方策を
1. 公共機関に特例子会社のような部署を設置
1. 災害時-コロナウイルス感染時における知的障害児-者への適切な対応
1. 児童発達支援・放課後等デイサービス連絡協議会の設置及び教育、家庭との連携
1. 相談支援体制の充実
1. 移動支援先での地域拠点作り
1. 阪神特別支援学校を市内に移転

詳しい内容については「土と芽だより」134号をご覧ください♡



おめでとうございます！

兵庫県社会福祉大会知事表彰「障害者自立更生者」 小寺宏治 様（大庄地区）

兵庫県障害者芸術・文化祭
兵庫県手をつなぐ育成会理事長表彰「知的障害者就労表彰者」

*20年表彰 松原優介 様(中央地区) *10年表彰 木村憲一郎 様(小田地区)

新理事紹介

よろしくお祈いします

 地区・施設 

本部



会長：鳥居祐紀



常務理事：井上恵子



副会長：井上三枝子・加藤智子・竹田佐和子



部長：大坂早永・井上由希子



事務局：岩永ゆかり



清流園：相木力子



塚口福成園：儀間裕実



杭瀬福成園：村中安子



あいあい：川端朋美



SC まつば：阿部裕子



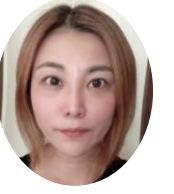
あこや学園：山田彩子



中央・大庄：田中文子



小田・園田：宮城美津子



立花・武庫：矢野礼子

監事



吉岡かほる



新本清美



山畑佳子



横山陽子



津 玲子



新里真理子

書記



…編集後記…

5月の決算後から鳥居新会長になり、新しい役員も加わりました。
コロナ禍でまだまだ不自由な生活が続いていますが、ワクチン接種が早く終わりいつも通りの生活が出来る事を願っています。最後になりましたが、原稿をお寄せくださいました皆様ありがとうございました。